



KAWASAKI TAKATSU R.C.

第2590地区第3グループ 川崎高津ロータリークラブ 2010~2011

事務局：〒213-0041川崎市高津区溝口2-14-1むらたビル3F
 例会場：ホテルKSP TEL 044-819-2211
 例会日：毎週木曜日 12:30 / 毎月第4週 18:00
 会長：三富 末雄
 幹事：相馬 元



R.I. 会長
Ray
Klinginsmith

クラブ年度テーマ
『地域に根ざした信頼されるロータリーを目指して』

点鐘・開会宣言・歌唱

三富 末雄 会長 「四つのテスト」

お客様

川野正久様(国際ロータリー第2590地区ガバナー、川崎北RC)
 鈴木彬道様(国際ロータリー第2590地区第3グループガバナー補佐、川崎多摩RC)
 松波 登様(地区大会SAA、川崎北RC)
 武田信平様(地区大会副SAA、川崎北RC)
 河原金蔵様(高津消防団団長)

来賓挨拶

* 地区大会参加促進キャンペーン

松波登様、武田信平様(地区大会SAA、副SAA、川崎北RC)
 地区大会が10月29日(金)と30日(土)、RI会長代理をお招きして、神奈川県民ホールで開催されます。記念講演として第1日目は米山奨学会 中国学友会華北分会会長姫軍(ジジユ)氏『米山奨学会と私の夢』と題してご講演を頂き、2日目には 元内閣総理大臣の小泉純一郎氏に『日本の歩むべき道』と題してご講演頂きます。2日目の講演はロータリーのご家族関係者の方のみ聴講も可能ですので是非お誘いの上お申込み頂ければと思います。
 尚、別途地区大会記念としてチャリティゴルフ大会が9月13日(金)、囲碁大会が10月2日(土)チャリティ会員・家族パーティーが10月5日(火)に開催されます。各々の会場で皆様にお会いする事を楽しみにすると共に大会成功のご協力をお願いして、挨拶とさせていただきます。

* 高津消防団 川原金蔵 団長

今月1日に高津消防団の団長を拝命いたしまして、昨晩団長の交代式の席上で先輩の持田様より本日の参加の依頼がありまして出席致しました。日頃高津RCの地域への奉仕活動に対し、敬意と感謝を申し上げます。
 また我々高津消防団に対して、25周年記念事業の折競技用ホースを数多寄贈して頂き非常に感謝しています。
 6月消防大会の際、各チーム(分団)でそのホースを使用致しました所、素晴らしいイベントな大会になりました。ホースだけでもこんなに違うものかと関心させられました。
 7月27日には県大会が行われ、橋分団が今回頂いたホースで参加いたします。ガバナーの所属されておられる中原消防団も共に県大会に出場されます。今後益々の御支援御指導を宜しくお願いします。

祝慶事

* 会員誕生日

茅根 正之会員 7月10日 福嶋 徹会員 7月22日
 福住 亮雄会員 7月22日 飯尾 光正会員 7月23日

* 入会記念日 田中 薫会員 H4年7月23日

* マルチプルロールハリスフェローピン 志村 正夫会員 第3回

* 米山記念奨学会 特別寄付記念品
 創立25周年記念例会での特別寄付に対して

第4回 例会記録

通算：第1201号
 例会日：平成 22年 7月 22日
 発行日：平成 22年 7月 25日
 今週のプログラム：「ガバナー公式訪問」
 次回のプログラム：「高津区民祭」
 ニコニコネーションメッセージ

* お客様(順不同)

川野正久様(第2590地区ガバナー、川崎北RC)

川崎高津RCの皆様、こんにちは。本日はお世話になります。本年度の貴クラブのご活躍とご発展、また会員の皆様のご健勝を祈念致します。「地域を育み、大陸をつなぐ」
鈴木彬道様(第3グループガバナー補佐、川崎多摩RC)
 本日はガバナー公式訪問付き添いで参りました。よろしくお祈りします。

松波登様、武田信平様(地区大会SAA、副SAA、川崎北RC)

地区大会事務局の川崎北RCから例会の貴重なお時間をお借りして地区大会へのご参加お祈りのキャンペーンに参りました。宜しくお祈り致します。

* RC会員(敬称略、順不同)

三富末雄 川野ガバナー様にはよろしくご指導をお願い致します。
相馬 元 川野ガバナー、本日は宜しくお祈りします。
三家 護 熱中症にご注意ください。
杉崎晴男 川野ガバナー、よくいらっしやいました。
福住亮雄 なかなか出席できず、久しぶりの参加です。宜しくお祈り致します。
森 正一 河原団長、ご多用の中、有難うございます。

高津消防団団長河原金蔵様よりお志を頂戴いたしました。ありがとうございました。フルトリーBOXに寄付させていただきます。

	件	合計	累計	目標額	達成率
ロータリー財団	17	19,000	57,000	300,000	19.00%
米山奨学会	18	20,000	57,000	540,000	10.56%
ニコニコBOX	20	38,000	111,000	1,000,000	11.10%
フルトリーBOX	19	32,000	93,000	540,000	17.22%

	会員数	出席義務者	欠席数	出席率	MU	前々回修正
本日	27	25	3	88.00%		
前々回	27	25	5	7月8日分	4	96.00%

クラブ会報委員会

福嶋 徹委員長 茅根正之副委員長
 鈴木良一委員 大橋健治委員 編集担当：福嶋 徹

報告

会長報告

* 川崎市高津区社会福祉協議会より第38回高津区敬老会の実施要項、および協賛金の依頼が届いております。日時：9月16日(木)13:00～場所：高津市民館 大ホール

* “社会を明るくする運動” 高津区推進委員会 斉藤二郎委員長より第60回 “社会を明るくする運動” に対する寄付金の依頼が届いております。

近隣クラブ 例会変更のお知らせ

* 川崎中原RC：7月29日(木)18:30～加賀料理 杉の家「やまぐち」8月12日(木)休会(定款細則により)

* 川崎北RC：8月11日(水)休会(定款細則により)

* 川崎マリノアRC：8月12日(木)休会(定款細則により)

* 川崎麻生RC：8月13日(金)休会(定款細則により)

* 横浜東RC：8月13日(金)休会(定款細則により)

* 川崎高津南RC：8月16日(月)休会(定款細則により)

8月23日(月)を21日(土)に変更 多摩川花火大会参加

* 川崎百合丘RC：8月17日(日)休会(定款細則により)

* 川崎南RC：8月17日(日)休会(定款細則により)

* 川崎中RC：8月24日(日)18:00～ 屋形船「長八」

* 川崎多摩RC：8月26日(木)18:30-東京JAPAN税理士法人

* 川崎稲生RC：8月27日(金)12:30-夜間例会を昼例会に

* 川崎幸RC：8月27日(金)18:00-横浜A イェットホテル&グース

近隣クラブより会報が恵送されております。お目通し下さい。(順不同)

川崎西RC 川崎高津南RC 川崎RC 川崎中央RC 諸事お知らせ

* 次週7月29日(木)の例会は25日(日)高津区民祭が移動例会となります。25日の区民祭の詳細はFAXにてお送りいたしますので、会員皆様のご参加ご協力を宜しくお願い致します。

委員会報告 社会奉仕委員会 杉崎晴男委員長

7月25日(日)区民祭は10時半に集合をお願いします。チャリティサークル終了後、石川会員の会社前にテントを移動して募金活動を行います。暑い日になりそうですが、宜しくお願いします。ホッパツは前日に配達か当日配布します。

7月22日のブランチ

「ガバナ-公式訪問」

ガバナ-紹介 鈴木 彬道様
(国際ロータリー-第2590地区第3グループガバナ-補佐、川崎多摩RC)

川野正久様 2010～11年度国際ロータリー-第2590地区ガバナ-

【略歴】

- ・ 日本大学法職専攻科終了
- ・ 株式会社 川野商店代表取締役

【団体歴】

- ・ 川崎青年会議所卒業 ・ 川崎中原消防団 副団長
- ・ 日本大学高等学校同窓会副会長
- ・ 横浜ラグビー-スクール指導委員 ・ 桐蔭学園評議委員

【ロータリー-歴】

- ・ 1984年10月3日 川崎北RC入会
- ・ 2003～04年度クラブ 会長
- ・ 2005～04年度 地区社会奉仕委員長
- ・ 2006～07年度地区社会奉仕委員長
- ・ R財団大口寄付者
- ・ ベネファクター-MPHF・米山効力者(マルチプル)
- ・ 準米山功労法人

と各方面に活躍なさっております。よろしく申し上げます。

ガバナ-卓話 川野正久様
(国際ロータリー-第2590地区ガバナ-、川崎北RC)

7月から1年間、第2590地区のガバナ-を務める川崎北RCの川野正久です。本日は川崎高津RCに公式訪問にお伺いしました。どうぞ宜しくお願いします。

本年度の川崎高津RCの活動計画書並び報告書を見させて頂きました。当クラブは創立1985年 昭和60年5月16日、ホッパツクラブは川崎西RC、チャーターメンバ-35名(現在5名)現在会員数27名、本年度は三富会長・相馬幹事ですね。会長、幹事宜しく申し上げます。

*2010年 11年度 地区方針

『ロータリー-の綱』を推進し、ロータリー-を楽しみましょう。ロータリー-の綱領すなわち目的は『有益な事業の基礎としての奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する事にあります。ロータリー-の目的を理解し、推進する機会を多く持ちましょう。また、ロータリー-を楽しんで頂きたいと思えます。楽しむ事のルール・基本的な知識の理解が大切です。まさに楽しむ為の『自己研鑽』が必要と考えます。

各クラブ5%以上の会員純増をお願いします。貴クラブは現在27名の会員数ですが、今年度29名に増強という事ですが、30名を目標に目指して下さい。クラブの財政面でも活動の活性化に於いても大変良い方向に向かうものと確信いたします。全員でこの目標に向かって下さい。

(途中省略 別紙にて全文掲載)



《 公式訪問 》

川野 正久 様

(国際ロータリー第2590地区ガバナー、川崎北RC)

- ・皆様こんにちは、川崎北RCの川野正久です。
- ・7月から1年間、第2590地区のガバナーを務めます。どうぞ宜しくお願い致します。
- ・本日は、川崎高津RCに公式訪問にお伺いいたしました。
- ・今年度の川崎高津RCの活動計画書並びに報告書を見させて頂きました。
- ・当クラブは、創立 1985年 昭和60年5月16日、スポンサークラブは川崎西RCで御座います。チャーターメンバー35名(現在5名)。現在、会員数27名です。本年度、三富会長、相馬幹事宜しくお願い致します。

さて、記憶に残る方法として、読む 10パーセント、見る 30パーセント、見て聞く 50パーセント、そして行動し話すと90パーセント、という統計が出ています。山本五十六氏は「やって見せ、言って聞かせてさせてみせ、褒めてやらねば、人は動かじ」と言っております。このような理由から、パワーポイントを使います。

次にリーダー、指導するものはどのようなことが必要か、と言いますと、聞く、説明する、助ける、討議する、評価する、反応する、これらが必要と言われています。ロータリアンの活動を高めるには、他のロータリアンとの親睦活動の推進 地元や世界の地域社会への奉仕活動 他の専門職業人とのネットワークづくり 努力に対する仲間や地域社会の評価 これらすべて仲間の功績をたたえることを忘れないで下さい。またやる意欲がわきます。

ロータリアン個人個人が魅力をもたなくてはなりません。そこで私はこの様に考えました。第一人称「自己を律すること」、第二人称「友を大切にすること」、第三人称「他者への貢献」である。言いかえれば、自己研鑽、友情(親睦)、そして奉仕でございます。このことを常に循環して問うことこそ自己の人格を形成し、向上させる訳でございます。これに到るには、一業種一会員による胸襟を開いた異業種の交流、そして例会への出席が重要である訳でございます。

さて、今年の1月18日から24日まで、アメリカ、カリフォルニア州サンディエゴで行なわれました国際協議会に出席してまいりました。

会議場には、世界各国から、530地区のガバナーエレクトと配偶者が参加し、日本からは34地区のガバナーエレクトと配偶者が参加しました。

この中で女性のガバナーエレクトは78名いらっしゃいました。日本での女性エレクトは1人でした。ちなみに、女性のエレクトは亀ヶ谷PGの時に続いて日本で二人目です。皆さん、当時のエレクトでしたが、7月からはガバナーです。

・本会議場の入り口に「入りて学ぶ」 Enter To Learn、出口には、「出でて奉仕せよ」 Go Forth To Serveの大きな看板がありました。

・ここに「入りて学ぶ」とは、ロータリーにあっては教師も生徒もおりません。全員が生徒なのです。つまりロータリーの例会は「自己研鑽の場」であるわけです。

・また、「出でて奉仕せよ」とは、例会場を出たら学んだことを奉仕、実践せよ、という意味です。

次にレイ・クリンギンスミスRI会長のロータリー歴をご紹介します。

元ロータリー財団奨学生であり、1961年 カークスビルRC(ミズリー州)に入会しました。

入会14年目で、第605地区ガバナーを務め、RI理事、R財団管理委員、39年目で、国際ロータリー会長になりました。

・続いて、略歴をご紹介します。

米国ミズリー州カークスビルの弁護士(主に商法、会社法、不動産法、遺産計画法を専門)であり、カークスビル トルーマン州立大学に22年間勤務されております。

私が着ているブレザーは、赤紫ですが、毎年色が変わっています。テーマ・ブレザーの導入は、25年前に始まりました。毎年ブレザーの色が違うのは、国際大会等で同期のガバナーを見つけ易いからだそうです。この方が、レイ・クリンギンスミスRI会長です。

・続いて、国際協議会のメインであります 2010 - 11年度のRIテーマの発表に移りました。なお今まで、数多くのテーマがありましたが、このロータリーのテーマは、今から61年前の1949 - 50年度が最初といわれております。

RI会長は、テーマを決めるにあたり、

1) 「ロータリアン以外の人にロータリーの目的を説明すること」

「ロータリアンに自分たちの活動の意義を再認識してもらうこと」の2つを満たすテーマを探しました。

2) 次に言葉として何が適切かロータリー活動の四大奉仕を考えると、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕は例会を通じて自己を高め、職業を通じて善き市民となり地域社会をより住みやすく、働きやすい場所にする事すなわち「地域を育み」を意味します。

一方、国際社奉仕は、国や大陸を異にする海外のクラブと協力し、世界理解・親善・平和を広め、世界をより良くすること。この国や大陸に橋をかけること。すなわち「大陸をつなぐ」を意味します。

このように、現在のロータリーの現在の使命を表し、私たちの業績を強調するために、私たちの得意とすること、すなわち、

「地域を育み 大陸をつなぐ」 Building Communities Bridging Continents」が最適のテーマである、と発表しました。

・続いて、RIの最優先事項として、(1)ポリオ撲滅 (2) 青少年にかかわる活動を発表し、強調事項として6分野を掲げました。私はこれを「人道的支援に関する活動」としました。

(1)ここでポリオについて少しお話をさせていただきます。ポリオ(POLI0小児麻痺)という身体の自由を奪う病の感染者の減少にロータリーは大きく貢献してきました。

ロータリーは、1985年ポリオプラスプログラム発足して以来、20億以上の子供に経口ポリオワクチンの投与を続け、現在までに世界210の国や地域からポリオが無くなり、134の国や地域がポリオ無発生の証明を受けました。現在ポリオ感染国はインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4カ国といわれています。この4カ国は、文化的・宗教的問題、地理的孤立、インフラ整備、武装紛争中で予防が非常に困難な状況で、今までより多額の費用を必要とすることをご理解ください。

また、最近の感染は約1,800人以下で、1979年の50万人と比べると世界的に99. %減少しています。これはタイプ・ を開発した薬が効いているそうです。

ナイジェリアが激減し、アフガニスタンでは国家元首やタリバンまで全子供に与えるまで紛争をやめようとする動きがあると聞いております。イスラムに多く、ポリオを考えようと国家元首も全滅に向かっている。

残念ながら定かでは御座いません。インドもポリオ撲滅に懸命であります。近年平均の4倍もの子供を集めてワクチンを投与しているそうです。近い将来ロータリーはポリオ撲滅の約束を果たすこととなるでしょう。

次に(2)青少年にかかわる活動について述べます。RI会長は元ロータリー財団奨学生です。故郷ミズリー州のユニオンビルロータリークラブからの奨学生として1年間、南アフリカへ留学しました。生まれ故郷で初めての国際親善奨学生でした。50年もまえの話です。帰国後2週間後彼は、RCに入会しました。父もロータリアンでした。

・今まで5万人近くの奨学生が留学の機会を与えられています。

・また、6万人のGSEチームが、別の国での研修を経験しています。

・10万人以上の青少年交換学生が海外のホストファミリーにお世話になっています。このように次世代を担う青少年にかかわる活動は、国際理解・親善・平和に大変重要な役割を担っています。

国際親善奨学生だった経験から会長は、特に青少年の活動に意欲を持っています。

・次に、強調事項として 平和と紛争予防/紛争解決 疾病予防と治療 水と衛生設備 母子の健康 基本的教育と識字率向上 経済と地域社会の発展です。これらの事項は未来の夢計画の6分野と同じです。これらはロータリー財団の使命と同じです。

・各クラブの実情に沿った活動をお願い致します。

・RI会長は、私達が時間と労力という代償をはらうことができるならば、私達は必ずこれらを成功に導くことができます、と語っています。

次に、2010年 11年度 地区方針を述べさせていただきます。

1. 「ロータリーの綱領」を推進し、ロータリーを楽しみましょう

ロータリーの綱領すなわち目的は「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成すること」にあります。ロータリーの目的を理解し、推進する機会を多く持ちましょう。

また、ロータリーを楽しんでいただきたい、と思います。楽しむための「自己研鑽」が必要と考えます。

2. RIの最優先事項「ポリオ撲滅」、「青少年にかかわる活動」、及びRIの強調事項として「人道的支援に関する活動」（6分野）を推進しましょう

日本においては、ポリオについての関心が少ないので、少々お話をさせていただきます。先ほど1985年頃から、ポリオプラスプログラムが発足したと述べましたが、わが国では、1982年に、東京の麹町RCの山田 彝(つね)会員が3H活動のため南インドに行かれた際、ポリオに苦しむ子供達の惨状に深い関心をもち、この調査報告が麹町RCのポリオ撲滅運動提唱の原動力の一つになっております。国際ロータリーにも何度もメッセージを送り、1986年に1億2千万ドルのキャンペーンを実施することになったのです。また、志を同じくする医師である峰 英二会員と再三南インドを訪れましたが、お二人とも原因不明の病原菌に侵され亡くなりましたことをご報告いたします。

1982年、東京麹町RCの山田彝(つね)、峰英二氏の活動が、ポリオ撲滅運動の原動力になっています。

また、今年の2月に神戸市の子供がポリオを発症したとの発表がありました。ポリオは決して他人事ではないのです。

「青少年に関する活動」として、インターアクト、ロータリーアクト、青少年交換、RYLA、国際親善奨学生、米山記念奨学生、ロータリー平和フェロー等、活発なプログラムがあります。

従来のプログラムの踏襲だけでなく新たなプログラムの展開をお願い致します。

・強調事項につきましては、6分野を「人道的支援に関する活動」としました。世界では、きれいな水を飲むこともできず、不衛生な暮らしをせざるを得ない地域が大半であること、教育の機会もない多くの人々がいます。また満足に食糧を得ることのできない人々がこの地球上におります。

私たちは、出来る範囲で困っている人に援助の手を差し伸べる勇気と行動が必要なのではないのでしょうか？

3. 各クラブの自主性を尊び、クラブ奉仕の充実を図り、職業奉仕の重要性を理解しましょう

・ここに「クラブの自主性を尊び」とは、クラブ主導を意味します。

・クラブ奉仕は、各クラブが楽しく充実した例会運営を目指してください。出席率の向上にも繋がるものと考えます。クラブの魅力は自己研鑽から。

・例会はロータリーの中核といえます。

例会での卓話は会員による卓話を重視してください。より会員相互の理解・親睦が深まると考えております。

・職業奉仕においての「四つのテスト」を尊び、倫理規範の高揚を図ってください。例会等で職業奉仕を学ぶ時間を設けてください。

4. 各クラブ5パーセント以上の会員純増をお願いします

今年度 5%の純増をお願い致します。貴クラブは、現在27名の会員数ですが、今年度29名の増強という事ですが、30名を目指してください。クラブの財政面でも、活動の活性化の於いても大変よい方向に向かうものと確信いたします。全員でこの目標に向かってください。

3~5年を目標に2950を目指したい。

会員増強の問題は 会員勧誘 会員維持 新クラブ拡大の3つの分野についての重要課題です。

入会に関しては、ロータリアンとしてふさわしいかどうか、クラブに馴染んでいただけるか、ロータリーをよく理解して入会して頂く必要があります。即ち、情報教育が重要です。

また、クラブの会員はロータリアンとしての自覚とプライドをもち、自分たちのクラブを魅力あるものとするのが会員にとっても新会員を迎えるにあたって、肝心であると考えます。

世界の大多数の地区の退会者から得た結果をお伝えいたします。

退会者の70%はクラブに指導性がない。

クラブに魅力がない

奉仕に関わるプロジェクトがない

いずれもクラブに対する失望である。

「地域を育み、大陸をつなぐ」その基盤は会員の維持・増強である

次年度、地区の活動として新会員を対象としたセミナーを実施し、ロータリーの知識の向上を図り、親睦を深められる機会を企画します。長期的には、2590名の増強に繋がる活動を目指したいと思います。

5. ロータリー財団への寄付は、会員1名あたり年次寄付120ドル、および各クラブでベネファクター2名以上を目標とします

昨年度、一人当たりの目標を達成しております。

今年度も宜しくご協力お願い致します。

ロータリー財団の趣旨および寄付金の使途等について分かりやすく説明し、ご協力を得られるような活動をいたします。

今年度 研究グループ交換、GSEは第7750地区 アメリカ・南カリフォルニアと決まりました。関 会長のご尽力です。

6. 米山記念奨学会への寄付は、会員1名あたり普通寄付5,000円、特別寄付20,000円、計25,000円以上を目標とします

16年間の実績をおごることなく、米山記念奨学会の意義と目的を地道に説明してご理解ご協力をお願い致します。第2590地区は1人平均寄付額 30,227円で、当地区が全国1位になりました。今年度のご協力をお願い致します。

7. 広報の重要性の認識、情報の活性化による

ロータリー活動の円滑化を高めましょう

「地域を育み 大陸をつなぐ」のテーマにある通り、ロータリアン以外一般の方にロータリーの活動を知って頂き、ロータリアンに我々の使命を再確認するように、効果的な方法・手段の検討をいたします。

8.RIのテーマ「地域を育み 大陸をつなぐ」に沿った五大奉仕プロジェクトを実施してください。また、とくに国際理解・親善・平和を育みつなぐロータリー財団、米山記念奨学会の趣旨をご理解いただき、より推進しましょう

2010年規定審議会は新世代奉仕を加え五大奉仕と致しました。

現在、当地区での青少年の活動は、インターアクト、ロータリーアクト、国際青少年交換、国際親善奨学生、ロータリー平和フェロー、R Y L A、米山記念奨学生等で活発な活動を展開しております。また、世話クラブ、ホームステイ、カウンセラー制度等で大変お世話になっておりますが、国際親善・理解・平和に貢献し、「ロータリーの未来のリーダーを育てる」ためにご協力をお願いします。また、経験した青年にそれぞれの成果を発表の機会を設けてください。

五大奉仕プロジェクトは、「効果的な目標」を設定するよう奨励してください。全員の決定であること、測定可能であること、意欲を惹起する取組みがよいこと、達成可能であること、時間が定められていることを考慮して「地域を育み、大陸をつなぐ」を実施してください。

9. “One for All All for One”
ひとりとは全員のために 全員はひとりのために

一人ひとりがクラブのために協力し、クラブは一人ひとりを大切に思いやりをもちましょう。自分一人がいなくてもいいのだ、というのではなく、自分がいなくてはならないのだ、という意識を持っていただきたい。

会員一人がクラブの大切な24の歯車であり、噛み合った人と人との友情こそクラブの活性化・奉仕の情熱の高揚に不可欠であると確信しております。会員各位の結束した意識と行動で、充実した目標をたて楽しい実り多い年度を目指してください。

あなたが主役です